

道 建 労 協 機 関 紙



Council of Road Construction Worker's Unions(C.R.U)

道路建設産業労働組合協議会

〒104-8380 東京都中央区京橋1-19-11 (NIPPO 労働組合内)

電話03 (3563) 6744

URL: <http://www1.ocn.ne.jp/cru>

## 労使セミナー

平成21年1月20日、ホテルラングウッドにおいて第24回労使セミナーが開催された。道建労協は当業界に於ける様々な問題について、労使共々勉強すべく定期的にセミナーを開催しており、今回は労使が抱える問題の1つでもある長時間労働やメンタルヘルスの話しも交えセミナーを開催する事とした。

講師は、アースシップコンサルティングの松山 淳氏 お迎えし「セルフリーダーシップを高める5つのツボ」と題して講演を頂いた。出席者は、組合側32名、企業側24名、計56名の参加で行われた。

講演内容は、題名の通り「5つのツボ」に分け、自らが学んだ事や体験した事を盛り込みセルフリーダーシップについて熱い講演を頂いた。

- ◆ツボ1 自ら「現実の意味」を再定義する
- ◆ツボ2 自らの未来が自分を引っ張り、過去の自分が背中を押す
- ◆ツボ3 自らを変える「トラップ」をしかけ続ける
- ◆ツボ4 自らを高める「哲学」をつくる
- ◆ツボ5 自ら「人生は一度きり」という覚悟を決める

ツボ1では、「石切場の物語」や「鎖につながれた象」の話しを例に上げ、現実の意味を再定義する事が必要であると講義された。ツボ3では、マイナスの行動を導くスイッチを減らし、プラスの行動を導くスイッチを増やす事により、必然的に自らの行動がプラスになる事を教えられた。ツボ5のまとめでは、「人生は一度きり」との覚悟を決める事により、自らの行動が予想以上の方向に導かれると力説された。

今回の労使セミナーに参加頂いた方は、企業でのリーダー又は組合のリーダーとして活躍し、道路建設産業の今後を担う人材でも有り、有意義なセミナーであったと確信している。

道建労協は、今後も年1回労使共通の問題をテーマとして労使セミナーを開催し、魅力ある道路建設産業の創造に取り組んでいきたい。



### 「今ある幸せ」

組合専従となり、まもなく1年。入社13年目にして初めて電車通勤を経験し、通勤時間を有意義に過ごそうと考え、読書をする事に。年に一冊本を読むが読まないかといった程度であった私が、通勤車内での読書がようやく習慣となった春先のころ。たまたま実家に帰った時に父の本棚を眺めていると、西日が当たり色あせてしまつた本が目にとまったのです。

その小説は山岡荘八著「小説太平洋戦争」

タイトルのとおり、太平洋戦争の開戦前から終戦、戦後までの数年間を9巻にわたり詳細に描かれている小説でした。

今まで知らなかった戦争の事実を改めて認識したのは勿論ですが、本当に実感したことは、犠牲になった方々のおかげで、「今」があるということ。

先行きの見えない不安で厳しい時代となった「今」。

当時の言い表せない悲惨な状況に比べれば、何不自由なく暮らせている「今」は本当に幸せなんだと・・・。

もうすぐ64回目の8月15日。戦争を知らない世代である私にとって今後その日は、今ある幸せを改めて実感できる日となりそうです。

大成ロテック社員組合

吉屋 圭雄

フリー  
ウェイ



# 地協のない地域の交流会



## 北陸地区

平成21年6月25日（木）、北陸地区交流会が新潟東映ホテルにて、本部3名、4単組7名の参加により開催されました。

6月土曜閉所強調月間の真っ最中ということもあり、道建労協が推進している土曜閉所運動について、各単組の取組方や実施状況についての意見が交わされました。

当北陸地域は、地域的に仕事量が減少しており、それに伴い各単組とも人員が減少していく中、各持ち場を維持していくことが精一杯の状況であり、土曜閉所については、組織的な取組もさることながら、いかに効率良く業務をこなすかという、個人の意識の向上が大切であるとの意見が出されました。

昨年より1名少ない参加者数でしたが、懇親会では「魅力ある産業について」、入社2年目の初参加の方を中心に大いに盛り上がりしました。

厳しい経営・労働環境ではありますが、北陸地域はまだまだ元気です！年に一度の開催ではありますが、今後とも各単組同士の交流を深めながら、少数精鋭で頑張っていくことを誓い、閉会となりました。

北陸地域交流会 幹事 荒川 修造  
(大成ロテック社員組合)



平成21年6月26日（金）、東北地区交流会がホテルレオパレス仙台にて開催されました。当日は5単組21名、本部役員3名、合計24名の参加者が集まりました。

労働環境における問題点については、各単組の土曜閉所運動についての取組を皮切りに、ノー残業デーを実践する取組まで、幅広く意見が交わされ大変参考になりました。

またその後は、東北地域特有の問題点や魅力ある産業づくりまで、各単組から忌憚のない意見が多数出されました。

そして今回も、昨年に引き続き9名の女性が参加してくれました。女性の観点からの出された意見は、男性組合員や組合の幹部が普段見過ごしがちなとても鋭い意見であり、大変参考になりました。

その後行われた懇親会では、最初の緊張感がうそのように次第に盛り上がり、最後には皆が席を異動して交流を深めることができました。

縦に長い東北地区は、何かとコミュニケーションが不足しがちであります。今後とも当地域交流会を通じて、各単組が交流しながら様々な問題点を共有することにより、業界全体の活性化に繋がりたいと思います。

各単組、組合員の皆さんの積極的なご参加をお待ちしております。

東北地域交流会 幹事 若林 由亮  
(前田道路労働組合)

## 東北地区





道建労協では、北陸・東北地域の地域交流会の開催を兼ねて、各地域の、「社団法人日本道路建設業協会」並びに「日本アスファルト合材協会」を訪問しました。

各協会においては、道建労協の活動内容の説明と共に、現在推進している土曜閉所強調月間の協力要請をさせていただきました。

また各地域の道路建設産業における市場の動向や、問題点等をお聞きすることができ、大変参考になりました。

私たちの産業を取り巻く厳しい経営環境を裏付けるかのように、やはりどの地域においても仕事量の減少により苦戦が続いておりますが、労使協調してこの難局を乗り越えるべく、今後とも各協会と交流を深めていきたいと思っております。

今回訪問にご協力していただいた、各協会の皆様におかれましては、ご多忙のところご都合をつけていただきありがとうございました。この場を借りて、御礼申し上げます。  
(道建労協 事務局長 島野 啓志)



6/25  
日本道路建設業協会  
北陸支部  
渡辺事務局長様



6/26  
日本道路建設業協会  
東北支部  
沼倉事務局長様  
(右側：手前)  
日本アスファルト  
合材協会  
東北連合会  
加藤常務理事様  
(右側：奥)

## ●北海道地協 札幌地区レクリエーション開催報告

平成21年6月20日(土)に札幌市内のボーリング場スガイボウルにて、北海道地協の札幌地区交流会が5単組合計36名(内女性3名)で開催されました。

皆さん日頃の疲れも忘れて、個人賞・団体賞の獲得を目指し、チーム一丸となって大ハッスルでした。ゲーム終了後の懇親会では、その疲れを思う存分に発散し、楽しい会となりました。ちなみにボーリングの結果は某単組が実力を如何なく発揮して、景品の総取りとなりました・・・。(他単組の皆さん、次回は頑張りましょう！)

また、今回の札幌地区レクリエーションが無事に開催できましたのは、各単組の皆様にご協力いただいたお陰です。



ありがとうございました。

北海道地協では、7月にも函館地区で交流会が開催されます。限られた予算の中でも、皆で北海道地協を盛り上げ、単組間の交流を深めるために、今後も積極的に参加していく所存です。

北海道地協 会計幹事 五十嵐 守  
(三井住建道路労働組合)



平成21年5月24日(日)知多半島奥田中海岸において、毎年恒例の潮干狩り大会を建設連合愛知県連合会さん、三菱UFJニコス労働組合さんとの共催で開催いたしました。

今年は(例年の悪天候ではなく)天候にも恵まれ、例年より多くの参加者で賑わい、浜辺では各単組ごとにバーベ

キューが行われ、(激務に耐える日常を忘れて?)大変盛り上がっていました。

潮干狩り大会の中でのイベントとして、子供を対象にした魚のつかみ取り大会も大好評で、子供が魚を追いかけている姿を見つめる親、親子で楽しそうに潮干狩りをしている姿は大変ほほえましく、参加者の皆さんが有意義な一日を過ごすことができたように思いました。潮干狩り大会が家族で楽しめる行事として定着してきているようで、大盛況のうちに終了いたしました。

中部地協 事務局長 沢尾 賢一  
(三井住建道路労働組合)

## ●中部地協 レクリエーション開催報告



## 土曜閉所推進運動について

道建労協は「モノづくりを通じて社会に貢献し、魅力ある道路建設産業を実現する」ことを基本理念として、「働きがいのある職場の環境づくりと豊かな生活の実現」を目指し活動しております。

毎年6月並びに11月を「強調月間」と位置付け、実質的な休日取得の増加を目指し、加盟単組各社・道建労協関係機関に協力要請を行うとともに、組合員への浸透を図っております。

特に6月に集計したデータは、11月の強調月間にあたって、各企業の代表者及び関係機関を訪問する際の説明資料となる、重要なデータです。

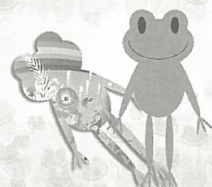
このようなデータは「マンネリ」と思われがちですが、高い回答率を維持ながらデータの信憑性を持たせるとともに、継続していくことに意義があります。

皆さんの土曜閉所に対する意識の改善とともに、今後ともアンケートのご協力をお願い致します。

### 6月は土曜閉所強調月間

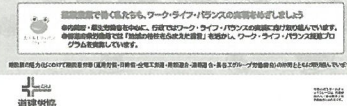
あなたがカエル  
みんながカエル

魅力・活力向上計画「土曜閉所」



道建労協では6月、11月を強調月間としています

土曜閉所推進運動



## 物知りクイズ

まあ〜つりだ！まつりだ！まつりっ！  
さあ、今年も暑い夏がやってきました。  
暑い夏を乗り切るにはコレっ!!  
そうっ！今回の物知りクイズは『ビール』です！  
「ありっ乾杯っ!!」



**Q1** 「ブハア〜。五臓六腑に染み渡るう〜。」  
始めの一杯は冷えていた方が良いですね！  
さて、ビールの保存温度は何度以下がよいでしょうか？

1. 5℃以下      2. 10℃以下      3. 15℃以下

**Q2** 「あれ？これ発泡酒じゃない？」とご不満の声・・・。  
いやいや最近の発泡酒はおいしいですよ。さて1994年に最初  
と言われる、サントリーから出された発泡酒の商品名は？

1. ウップス      2. ゲップス      3. ホップス

**Q3** 「ちょっとトイレ・・・フラフラ・・・バリ〜ンッ！」あらあらビ  
ール瓶を割ってしまいました。さてこのビール瓶、完全にリサ  
イクルされています。年に何回ぐらい再利用されているでしょ  
うか？

1. 1回      2. 2回      3. 3回

**Q4** 「あ〜よく飲んだ。ちょっと小腹が減ったな？」  
おやおやシメのラーメンですか？そこでメタボ気味のあなた？  
ビール500mlでごはん一杯と同等のカロリーと言われていま  
すが、何カロリーかご存知ですか？



1. 150kcal      2. 200kcal      3. 250kcal

## 物知りクイズ当選者

PAVE第76号「物知りクイズ」は1月の発行という事もあり、今年の干支（丑年）である『牛』に関する問題が出題されました。

今回は新年度企画として、正解者の方には通常の2倍の景品をプレゼントする事もあり多くの応募がありました。当選者の方には抽選で粗品を贈呈致します。ご応募有り難うございました。

今回の応募者数は増えましたが、毎回応募数が減り抽選でも当たる確立が高くなっております。是非この機会に物知りクイズに挑戦してみてください。今回も多数のご応募お待ちしております。

### 前回の答え

- Q1    3. 両方はえる  
Q2    2. 2本  
Q3    1. 1kg  
Q4    1. 鼻紋

### 当選者

- |       |             |
|-------|-------------|
| 増子 克江 | (大林道路職員組合)  |
| 原田 夕子 | (NIPPO労働組合) |
| 大園 幸一 | (NIPPO労働組合) |
| 尾松 靖子 | (NIPPO労働組合) |
| 安井 光蔵 | (前田道路労働組合)  |

〈応募方法〉下記を明記してお送りください。正解者の  
中から抽選で粗品をお送りします。たくさ  
んのご応募をお待ちしております。

- 解答 ●住所（会社宛の場合は会社名もご記入ください）
- 氏名 ●所属単組名
- 今回の紙面でよかった点、気づいた点がありましたらご意見も是非お寄せください。
- 締め切り 8/28（金）
- 宛先 〒141-8665  
東京都品川区大崎1-11-3 前田道路労働組合内  
道路建設産業労働組合協議会『PAVE』宛  
FAX 03-5487-0051  
E-mail:kumiai@maedaroad.co.jp

※次号は9月発行の予定です。

## 編集後記

先日、建設業の業界新聞に、某県の建設業協会が主催して地域の小学生に建設機械の体験学習会を開催したという記事がありました。

「児童が実際に建機に触れたり、操作したり貴重な経験に目を輝かせていた。」という内容のものでした。この体験学習会に参加した児童から未来の技術者が多数生まれることを願うばかりです。

自分も小さい頃に近くの工事現場で動く建設機械等を飽きもせず、日がな一日眺めていたことを思い出します。皆さんも覚えがありませんか？私が人事採用に携わっていた頃、採用試験に訪れる学生は皆「地図に残る仕事がしたい」と目を輝かせていました。

昨年のリーマンショックに端を発する世界同時不況、建設業のイメージを悪くする政界への不正献金問題等、まだまだ我々を取り巻く情勢は厳しいようですが、建設業に夢を見て目を輝かせていた頃の自分を思い出してみませんか？

東京舗装工業社員労働組合 野口光博